

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 28 年度

市町村名	久喜市					
提案事業名	コスモスふれあいロード観光交流振興事業					
事業期間	26年度 ～ 26年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ブルーフェスティバルの参加者数					
	(成果検証の具体的な方法) あやめ・ラベンダーのブルーフェスティバルの参加者数を調査する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (25年3月時点)	63,500人	目標値 (28年3月時点)	80,000人	実績値 (28年3月時点)	78,000人
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
	住民への公表状況 及び特記事項		ホームページにて公表			

【事業効果の整理・原因分析】

平成27年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① コスモスふれあいロード整備事業	○	コスモスふれあいロードにおいて、土砂の流出や砂利等の多い箇所には土留を設置し盛土をすることで、維持管理の負担軽減及び開花率の向上を図ることができた。
② コスモスフェスタ実施事業	○	市の花「コスモス」が満開の時期にイベントを開催することで、多くの方に、コスモスふれあいロードを広くPRすることができた。
③ コミュニティ祭り実施事業	○	ポピーの最盛期に、市民主体で実施をしている「鷲宮コミュニティ祭り」を開催することで、多くの方にその景観を楽しんでもらうことができた。
④ 駅からハイキング実施事業	○	JR東日本主催によりJR東鷲宮駅からJR久喜駅までを散策する駅からハイキングを実施し、その経路の一部にコスモスふれあいロードを含むことで、その景観を楽しんでもらうことができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	コスモスふれあいロードにおいて、土砂の流出や砂利等の多い箇所には土留を設置し盛土をすることで、維持管理の負担軽減及び開花率の向上を図ることができた。 また、観光資源として、久喜市のイメージアップに貢献することができた。
実施事業について 成果が不十分である点	特になし。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	コスモスふれあいロードの維持管理を継続的に地元ボランティアが行うことで、さらなる地域コミュニティの醸成を図る。 また、久喜マラソン大会のコースの一部としてコスモスふれあいロードを利用したり、ランナーズインフォメーション研究所に「秋桜の道」として掲載されていることから、ランナー向けにアピールを行う。